

日本生命、米ブラックストーンと包括提携 ファンド融資1.5兆円委託

2026/06/03 20:01 日本経済新聞電子版 1714文字

日本生命保険と米大手投資ファンドのブラックストーンは3日、包括提携することで基本合意したと発表した。日本生命グループがブラックストーンに5年間で1兆5000億円を運用委託し、北米の不動産やインフラ向けプライベートクレジット（ファンドなどによる融資）で収益を得る。日本の保険マネーが海外融資に回る動きが加速する。

保険会社と投資ファンドの提携においては世界でも有数の規模になりそうだ。ブラックストーンは日本生命から受託した資金を融資に回す。住宅ローンや商業用不動産ローン、エネルギーやデータセンターをはじめとするインフラ向け融資などに活用する。融資の対象地域は北米などが中心になる。

人工知能（AI）に不可欠なデータセンターなどの建設には、巨額の長期マネーが必要になる。個人から長期の資金を預かる保険との相性が良いとみる。

ブラックストーンのジョナサン・グレイ社長兼最高執行責任者（COO）は3日、日本経済新聞の取材に「保険会社を借り手に近いところまで直接つなぎ、中間にある組成コストや証券化コストを減らす」と話した。

ブラックストーンなどが運営するプライベートクレジットを巡っては、個人向け商品で解約請求が殺到している。IT（情報技術）サービスをはじめとする企業向け融資に関するAIの発展による業績悪化懸念などが背景にある。グレイCOOは「高水準の解約が落ち着くまで少し時間がかかる」と語った。

一方、日本生命が今回投資するのは信用度の低い企業への直接融資とは異なり、不動産など担保付き融資が中心となる。投資適格の格付けを得た融資のみになるという。グレイCOOは解約が集中する非投資適格の融資とは「別の市場だ」と強調した。

日本生命の朝日智司社長は「プライベートクレジットでは非上場企業とのネットワークなどが投資成績を大きく左右する」と指摘。ブラックストーンの運用能力や案件発掘力が安定的な投資機会につながると期待を示した。

日本生命は2005年から一般勘定の運用をブラックストーンに委託してきた。25年に買収した米系生保レゾリューションライフでもプライベートクレジットの運用を委託している。包括提携という形でより踏み込んだ協業を模索する。

ブラックストーンが強みとする不動産領域でも協業する。日本生命が保有する国内都市部のオフィスビルなど十数件を対象に、ブラックストーンのノウハウを生かして稼働率の改善を目指す。

日本生命の保有不動産は築年数の経過とともに収益力が低下しているものもある。不動産価値を上げて賃料収入の増額を図るほか、必要に応じて物件も入れ替える。

ブラックストーンは25年に西武ホールディングスから4000億円で赤坂プリンスホテル跡地の複合ビル「東京ガーデンテラス紀尾井町」を取得し、今後3年間で日本の不動産に2兆4000億円規模を投資する方針を示している。日本生命との協業で、日本での不動産事業を拡大する考えだ。

日本生命グループからブラックストーンに運用人材も派遣する。自社の運用力の向上に加え、プライベートクレジットファンドに投資する際の運用会社の目利きなどを学びリスク管理能力を高める狙いだ。

国内保険会社がプライベートクレジット投資への積極姿勢を崩していない背景には国内金利の上昇などによる環

国内生保はファンド融資への投資を拡大

日本生命	・米ブラックストーンにファンド融資1.5兆円を運用委託 ・三井住友FGなどと企業買収向けの融資ファンドの共同設立を検討
第一ライフグループ	・23年にファンド融資を手がけるトパーズ・キャピタルを買収 ・24年に米キャニオン・パートナーズに出資
住友生命	26～28年度にかけ、ファンド融資の残高を現状の1兆6000億円から6割積み増す
明治安田生命	25年に英マン・グループと提携し、プライベート資産などの運用強化

境変化がある。生保各社は保険契約者に約束する利回りを引き上げており、運用収益の拡大が求められる。超長期国債や株式などは足元で価格変動が大きくなっており、伝統的な資産とは値動きの相関が小さいオルタナティブ（代替）資産への関心は高い。

国内大手生保では、第一ライフグループが23年にプライベートクレジットを手がけるトパーズ・キャピタルを買収し、24年には同事業に強みを持つ米キャニオン・パートナーズに出資した。住友生命保険が26～28年度にかけてプライベートクレジットの残高を現状の1兆6000億円から6割積み増す方針を掲げている。

プライベートクレジットは社債などと異なり、機動的な売買ができず、市場が急変した際に想定外の損失が発生するリスクもある。資金の出し手として生保各社も投資先のリスク管理などの巧拙が問われる。

（本脇賢尚、北川開）

【関連記事】

- ・ブラックストーン、国内不動産に2兆円投資 企業の資産売却受け皿に
- ・ファンド融資、住生・第一生命が投資拡大 米市場変調も高利回り期待
- ・住友生命、ノンバンク融資を1兆円積み増しへ 社長「分散投資を徹底」

許諾番号NK003331 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.